

みんなと違っていても、大丈夫。

私たちは、みんなと同じようになろうとします。

特に小学生や中学生のころは「みんなと同じになろう」とする気持ちが大きくなる時期です。

仲間外れにされると、寂しく感じるからです。

みんなと同じほうが、仲間意識が働き、安心するからです。

みんなと同じような発言、行動、考え方をしようとしています。

みんなと同じだと、仲間同士という感じがして、喧嘩が減るような感じがします。

しかし、本当は、逆なのです。

みんなが同じになってしまうほうが、むしろ喧嘩や問題が増えます。

たとえば、あなたがAさんという異性を好きになります。

みんなが同じなら、ほかの人たちもみんな、Aさんを好きになります。

Aさんの愛を、みんなで奪い合うことになり、喧嘩が増えることでしょう。

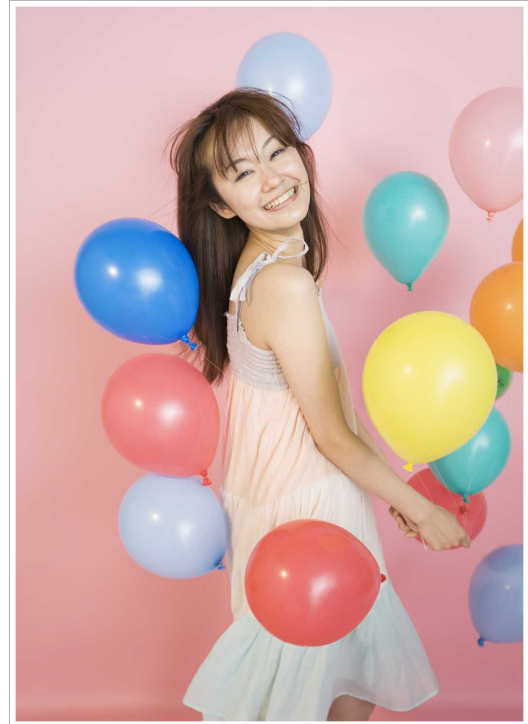
みんなが同じになれば、地球上に存在する職業も、1種類になります。

たとえば、この世に「ウェイター」という職業のみになってしまうとします。

すると、お米や野菜を作る人がいなくなります。

運搬する人がいなくなります。

食事を作る人がいなくなります。



ほら、問題ですよ。

こればかりではありません。

医者がいなくなれば、病気を治すことができなくなり、みんなが苦しみ始めます。

警察官がいなくなれば、安全を守ってくれる人がいなくなります。

建築家がいなくなれば、家を建てることができなくなります。

みんなが同じになってしまうと、実は問題が増えるのです。

みんなと同じになろうとするのは、ナンセンスです。

みんなと同じになっても、いいことはありません。

喧嘩や問題が増えるばかりです。

この世は、多種多様な人たちがいて、全体としてうまく調和が取れています。

あなたの「違い」も、その全体が調和するために必要な「違い」です。

それこそ、神から授かったあなたの才能です。

みんなと同じになろうとすると、せつかくあなただけにある「違い」が失われます。

同じになる必要などないのです。

「みんなと違う」と感じたら喜びましょう。

むしろ、自分だけの違いをどんどん伸ばしていくのです。

その違いを求め、喜んでくれる人がいます。

私たちは、人それぞれ、みんな違って当たり前です。

10人いれば、10とおりの違いがあります。

医者になりたいと思う人もいれば、美容師になりたいと思う人もいます。

農家を営みたいと思う人もいれば、漁業で働きたいと思う人もいます。

Aさんを好きになる人もいれば、Bさんを好きになる人もいて、CさんやDさんを好む人もいます。

そんなたくさんの違いがあるからこそ、全体として平和になり、安定し、調和が取れているのです。

気楽に人生を生きる方法 その23

みんなと違うことを、喜ぶ。